

報告：保育課への挨拶とお願い

5月21日(水)18:30～ 市役所第2別館201会議室

新たにスタートした連絡会として、初めて保育課への挨拶とお願いに行きました。八木崎、小淵、豊野クラブの役員の方にも出席していただき、緊急を要する事も含めて重要なお願いをしてきました。

ここでは、特に深刻な3つの問題について訴えた内容について、要旨をまとめて報告します。(その他の懇談内容詳細については、別途各クラブに配布している議事録を参照してください。)

保育の継続性維持を要望！

「放課後児童クラブにおける保育の継続性維持を求める要望書」を提出しました。

今年、春日部市の22の放課後児童クラブは、来春からの指定先更新に向けて一般公募による選定が行われる予定です。一方で、現在の指定先である春日部市福祉公社は一年以内に解散となります。このままでは、今までと全く異なる団体(企業?)が指定を受ける可能性や、指定先自体が見つからない可能性もあります。

先の見えない状況の中で、現在の指導員が継続して保育を行えるよう、福祉公社に代わる受け皿となる団体を確保してもらおう様、訴えました。

保育課からは、「継続した保育サービスの提供は重要と考えている。まだ何とも言えないが、継続性を重視した対応をしたい。」(斉藤課長)との回答を得ました。

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会 事務局
090-3312-5682 kadoi@ltj.co.jp 土井

高学年の受け入れを！！

定員を理由に、小淵クラブで高学年(5、6年生)が退室勧告を受け、退室させられました。保育を必要とする全ての子どもが入室できるよう、人員と設備の早急な増強をお願いしました。

(小淵クラブより)

「学童が自分の居場所になっていた。学校では見せない表情も見せながら、上級生として下級生の子の面度も良く見ていた。入れなければいいやと思って申し込んでいる人はいない。必要だからお願いしている。玄関先で子どもが殺されるような社会、単純に「お留守番ができる学年」と決めて上から切って欲しくない。」保育課では、希望者増に対応するために、空き教室を使用した拡張を検討し、学校との調整を始めている(斉藤課長)との事。増設は進める必要があるが、今入室できない子どもたちのために、緊急措置的な対応をお願いしたいと訴えました。

指導員不足の解消を！！！！

八木崎クラブは4月時点で児童84名。昨年は指導員4人だったが、今年度は指導員不足の影響で3人に減員となった。そのうちの一人が妊娠、体調不良で実質2人体制に。指導員の採用が思うように進まない中、他クラブからの応援で対応中だが、現場は大変な状況。早急な補充を訴えると共に、意欲ある人材が多数集まる様にするためには、指導員の待遇改善がぜひ必要である事を訴えた。

(八木崎クラブより)

「先生方は、足りない人数で一生懸命やったださっている。先生方の健康が心配。体調が悪いのに無理に出勤するなど、私たち親も黙って見ていられない。今年度の異動の仕方にも問題があったと思う。一刻も早く助けて欲しい。そして、指導員が意欲を持って長く仕事を続けられ、私たちが安心して子どもを預けられる様に、指導員の待遇改善が絶対に必要。」

保育課では、ここまで深刻な状況である事を知らなかった様であったが、「早急に公社に確認し、連携を取って対応する」(斉藤課長)との事。

参考までに・・・

本年度の放課後児童クラブ運営のための年間予算をお聞きしました。

2億8400万円(設備費は除く)、そのうち指定管理費は2億4523万円

1クラブ当たり約1100万円の経費です。その内の約9割が人件費。

指導員の待遇を改善するためには、委託費を増額してもらわなければならない事がわかります。